

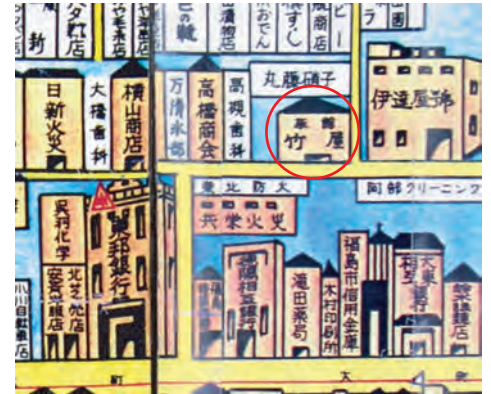
竹屋旅館南土蔵、西土蔵

所在地 福島市大町2-28

1. 建物

- 南土蔵：土蔵造、二階建、切妻造、瓦葺、桁行9.7m、梁間4.9m、廊下付
- ・ 西土蔵：土蔵造、二階建、切妻造、瓦葺、桁行10.7m、梁間5.9m
- ・ 生糸問屋の屋敷地に明治42年（1909）に建てられ、南土蔵は、外壁は白漆喰、腰壁は海鼠壁、屋根は切妻造りで、元来は各2室の座敷であったが、そのまま客室に転用したものらしい。

西土蔵は、腰にタイルを張り、階段の窓にはステンドグラスを飾り、階段手すりには洋風意匠が見られます。
（「福島県近代和風建築総合調査報告書」等より作成）



2. 登録有形文化財

昭和30年地図の位置

- ・ 平成12年（2000）10月11日
国登録有形文化財に登録

3. 東日本大震災被災、解体

- ・ 平成23年（2011）3月11日
東日本大震災被災。外壁、屋根の崩落等、
- ・ 平成24年（2012）3月 解体。



●旅館 藤金

竹屋旅館が解体されて約7年後の昨年末、同じくまちなかの老舗旅館である「藤金」が、明治からの長い歴史を閉じました。また一つふくしまのまちの顔、明治の福島が消えました（所在地 福島市中町1-8）。

「ふくしまわが町」（大村 三良 1987）には「藤金旅館は、稲荷神社前に居酒屋をしていたのが、明治初年に現在地を開業したといわれ、明治9年の東北御巡幸に従った木戸孝充はここに泊まりました」と紹介しています。



店本金藤館旅
(目下二町中)
藤金旅館本店 *



解体前（木戸孝充、田中義一、竹久夢二等が宿泊）

紹介しています。駅前には支店もありました。